

再生

師友道友の活動を綴る善行伝承誌

わがいのち生きなむ限り養父母の

いのち寂しく思ひつつ生くべし

森信三先生あいうえお語録より

第0047号

2020.7月号

令和三年

実践人福岡仁風読書会

再生の題字（森地彦様提供）は、森信三先生の直筆です。



現代における孝の哲理

森 信三先生 講述

— マナコを閉じて親の祈り心を —

八 孝はわがいのちの根源を求める

運命の自覚

人間至深の情である

以上がこれまで七章にわたって申してきた概略でありまして、これが親についての生命論的考察であり、人間学的洞察であります。そこでこれからいよいよ「孝」について申しのべるわけですが、それに先だち一つの例話をお伝えしたいと思います。それはすでにお亡くなりの大石順教尼さんについてであります。

皆さん方もすでにご存じかと思いますが、大石順教尼さんは娘時代、芸妓になるために妻吉といつて養女としてもらわれていたのですが、養父は中川万次郎といつて、有名な堀江の六人斬りの主人公なのです。その時、妻吉は養父によつて、日本刀で両手を切り落とされたのです。もともと一命はやつとの事できりとめたのですが、それから両手のない苦難の一生が始まったわけでありませう。その後寄席芸人として各地を巡業させられるわけですが、のち結婚しましたものの、やがて出産・別離等をへて、ついに高野山で出家得度され、尼僧順教と改め、障害者のためにその尊い生涯を捧げられた真の宗教者であられます。また絵筆を口にして、もとめられるままに数多くの揮毫をされ、比類なき立派な生涯を終えられたのであります。なお著書として「無手の法悦」という書物が残されていますので、心ある方はぜひお読み頂けたらと思います。

ところで刑に服する養父のたつての希望により、刑務所で面会するのですが、その時の順教尼さんのコトバにはいつも心を打たれます。それは「お養父さんどうかご安心を——。私は誰よりもお養父さんの心をよく知っていますので、決

実践人福岡仁風読書会 第43回 6月6日(土)

場所福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号 仁風庵にて

(実践人の家の会員であればどなたでも参加できます)

(参加費無料) 詳細は、世話人へお問い合わせください。

してお養父さんを恨んだりしていません。お養父さんが死にはつたら骨は拾って、必ず供養してお墓も建てます。また死んだ五人の人たちの法要は、私の生きていく限り必ず勤めることにいたします。私は名のある踊りの師匠になれずとも、何か気の毒な人様のために何かをしたいと思います」と申しておられるのであります。そしてこのコトバ通りに、供養と献身と法悦の生活を終えられたのであります。まことに他を恨みず、自らの運命を愛した方と申せましょう。ついでに大石順教尼さんの歌を一首詠んでみましょう。

たえ忍ぶことなかりせば今日までの命なからめ双手無き身は

母への感謝

次にわたくしはもうひとり、この順教尼さんと同じく、与えられた自己の運命を生かし、現在今なお人なみ以上に努力を發揮されている人をご紹介したいと思います。それは広島のはらみちおという人で、生後すぐ脳性マヒにかかり、両手両足共にマヒ状態なのですが、母に背負われて高等学校を終えられ、その後、時計の修理や彫印技術を習得され、営業二十年目に店を閉じ、それから詩と絵の道に専念しつつ現在に到つていられますのであります。ところでこのはらみちおさんの詩文や絵は、ことごとく母をたたえ母への感謝のコトバや絵なのであります。最近刊行された「お母さん」と題する画集からその詩を二三篇ご紹介しましょう。

おいのりしているお母さんの

(次回へつづく)

健康 教育

もともと、表彰については無関心であった私であったが、賞を受けてみると、又、学校内校区内は、学校初めてのことはあるし、意外に大きな喜びがまき起り、職員の士気も上つていった。特に幸せなことに浦山教頭は、前任校の宝珠山小学校で、上原鉄蔵校長と組んで理科教育で名を挙げ、学校表彰を、郡内第一に受けられ、又、個人論文受賞の経験もあるベテランであったので、これから大いにやろうではないかと巧みに職員の意欲をかきたてて下さった。

それから、一方に図書館教育にも力を入れながら、健康教育にも本格的に取り組んで行くことになった。PTAの保健委員会だけでは活動の範囲が狭いので、学校保健委員会をつくり、町保健課、地教委、校医、部落長代表、PTA、教師、子どもとあらゆる関係機関に集って貰って強力な体制をつくり、最初は健康教育全般に亘り、一応のレベルに引上げることから初めた。そこで膨大な報告書が出来上り、三年目四年目連続優秀賞をいただいた。

この審査には県保健課、学校教育課から実地に終日の審査があつて、そのあと講評をいただく、体育を中心とする積極的な保健教育だったので、この方面の手薄はもつともな事と思われたので、早速、又、学校保健委員会を開いて課題解決を協議した。中村歯科校医先生は、自らすすんでその役を買って出られ、「ムシバ対策」に乗り出し、毎月二ヶ学年の検査をし、ムシバのある者の治療には特に便宜をはかつて貰うことになった。養護教諭宮野先生もこのことに力を入れ、個人治療表を発案して、低学年の如きは、自ら引率して中村歯科医院に向き、完全治療の成果をあげてきた。学級担任も大いに協力し、ハミガキ訓練もやった。その結果、初年度は、「よい歯の学校優

良校になったが、治療してもムシバはなかなか絶えなかった。しかも、同一人がかかり易い。更に検討を加え、歯の鍛錬にかかり、給食には必ず漬物を添えることにし、家庭にもそのことを呼びかける一方、中村先生の厚意でフッ素塗布も励行した。二年度には優秀賞第一位に認められた。私共はまだまだ不満足で、更に検討した結果ムシバは夜つくられるという結論に達した。そこで『夜、歯をみがく』運動を展開し、今はその成果が期待されている。

朝倉郡では、保健体育の振興のために、学校保健会主催で、学校を指定し、研究会を持ちまわっている。本校にもその指定があつた。一般授業から体育授業、子ども保健委員会、体育クラブの機械体操を公開し、学校への滲透を目ざした保健体育について発表し、県保健課の矢野先生の講評を受けた。

会長・林与吉郎先生は、かねて医学の立場から教育の改善を唱えられている篤学篤行の方で、保健体育については、愈々達識の士で先生管下の比良松中学校や朝倉小学校の保健体育も先生の指導で、県下に響いていた。その日は、学堂の心臓疾患について特別講演があり、先生の学校保健に対する愛情と熱意を巧みな話術で講演され、会員一同は、只々感服するばかりだった。先生は得意の脳の話をされて、大脳からみた学習の効率をも指導されたので、それから、私たちも大脳生理学に興味をもつようになった。

その時、中牟田校においでになったのが初めてであったが、本校教育の方針に大いに共鳴して下さった。それは、本校では、意欲と創造が取り上げられているが、これこそ、大脳前頭葉のはたらきで、人間最高のものであると裏付けされ、又、本校の体育を見られ積極的な保健体育を賞揚された。私は偶然にも先生の学理と一致することに驚き、又、非常な力を得た。

日本一きれいな博多駅・福岡の街に！

第 319 回

博多駅 早朝清掃

毎月 **8** 日 午前 6 時 15 分～

【第一回】平成 5 年 12 月 8 日開催

福岡実践人・JR 九州博多駅
精華女子高等学校・福岡掃除に学ぶ会

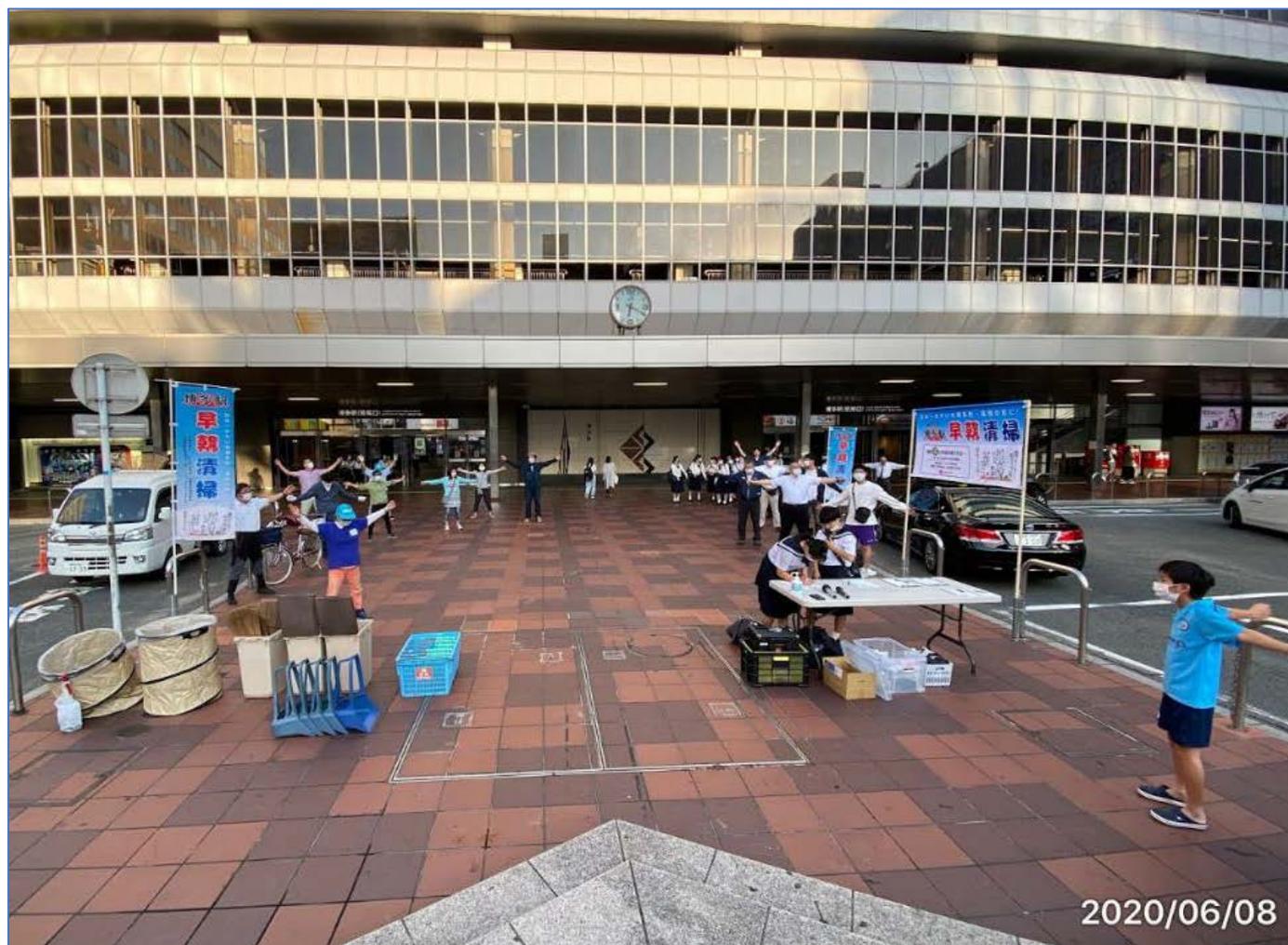
 **ハウスマイト**



第319回 博多駅早朝清掃

6月8日(月曜日)

81名参加



第 3 1 9 回目の博多駅早朝清掃は、博多駅副駅長を始め 8 1 名での活動となりました。
参加者内訳 一般：2 5 名、女子高生：5 0 名 大学生 6 名の合計 1 3 名



新型コロナウイルスの非常事態宣言も解除になり、日常生活が始まった6月、学校も始まりました。ただ、「博多駅早朝清掃」が、通常通りの参加者を迎えられるのは程遠いだろうと思い、清掃方法の変革準備をし8日の朝を迎えました。ところが、参加者を迎える準備をしていると、コロナ騒動前と変わらぬ勢いで参加者が集まって来ます。立ち位置を決めるマーカーを配置する間も無く、通常の「博多駅早朝清掃」と流れて行きました。参加者81名での活動が27年の継続を感じさせました。富吉袈裟右衛門 拝

帆足行敏先生へ講和録 その四

平成七年 四月三日

講和「フォレストガンブを中心に波動の真理」

おはようございます。先月の一日に私がここでお話したのは、もう二回と繰り返してお話をしますが、三月一日でしたか、私が高校に居た時に三月一日は県下一斉に卒業式が行われると。卒業式は大変おめでたいことであるけれども、私の経験したところでは非常に苦いと言いますかね、いつまでも忘れる事の出来ない問題が起こっておるといふ事をお話をしました。それからだんだんと話が横道に逸れて、最後に所照の自覚という事を皆さんにお話したと思います。所照というのは、所という字に照らすという字ですね。所照の自覚。自分は一切のものから生かされておるといふ自覚ですね。所照というのは、とにかく自分を巻きく一切のものから、自分は生かされておるんだという事が自分で分かるようになった時に始めて、人は幸福感というものを味わう事が出来るんだと、こういう事をですね、最後にお話しましたと思います。

今日は少し観点を変えましてですね、これは皆さんも最近縁遠くなっておると思いますが、聞いておる人もあると思いますが、映画で「フォレストガンブ」という映画が、いまその宝塚でやっておりますね。ちょっと知ってる人、手を挙げて下さい。一人、二人、三人。見た人。いないですね。こんなに会社とですね、歩いたら僅かの距離にある映画館で、こんな素晴らしい映画があったという事を、私これを観て始めて分かりました。昨日、土曜と日曜日はですね、朝八時から第一回目の上映があったんですね。それで私は第一回目から観ようと思って、丁度孫が来ておりましたので、今年高校一年生に入った孫を連れて、「お前観るか」と言ったら「観る」と言うからですね。「じゃあ、一緒に行こう」といふ事で、「フォレストガンブ」を観に行つたんです。そんなに観客は多くなかったと思います。こゝろ見渡したところですね、「もう随分行列が出来ている。席は一杯じゃないか」と思っておつたんですけども、やっぱり日曜日の朝という事であつてか、お客はそんなに多くありませんでした。ですから一番良い席に

座つてゆっくり観る事が出来ました。私も最近映画はあまり観てないんですけどもね、今まで観た映画の中で、最近こんなに感動した映画はなかったですね。

あらすじをちょっと申しますとですね、フォレストガンブというのはですね、人の名前です。フォレストガンブという人の名前です。映画の始まりはですね、アメリカの国旗が一つと出てきて、鳩の羽がチラチラと画面に舞う場面から始まって、バスを待っているフォレストガンブがですね、バスを待ってるお客さんが来ると、そのお客さんに語つていった内容が、ずーっと映画の画面に思い出として広がっていくという、そういう内容なんです。フォレストガンブというのはですね、生まれた時から障害者なんです。歩くことが出来ないし、それから頭の方もですね、非常に知能指数が低くて、そういう障碍児で、養護学校に行つておつた。そして画面には父親は出てきませんが、母親と二人暮らしたたんでしょうか。この金具をですね、腰から下、全部金具をはめて、足の先までこういう形で歩く。そういう子供であつたわけですね。今日は映画の内容を話すわけではないんですが、小さい時からそういう事であつたんですね、母親の方もいろいろな事があつたんでしょうけれども、その障碍児の中で非常に素直に育つてるんですね。非常にいじめにも遭います。友達からのいじめにも遭います。そのいじめを克服して、非常に純真な気持ちで生涯を終えて、これは本当に考えさせられる内容なんです。ある日ですね、障碍児で金具をはめて歩いてる時に、同じ位の年齢の悪坊主がですね、三人フォレストガンブをいじめるわけですね。石を投げたりですね、自転車で追っかけたり、そうすると、命懸けで逃げるわけですね。三人の悪坊主が自転車で追っかけて、フォレストガンブはそんな恰好をして、もう命懸けで逃げている。その歩く速さが速いんですね。そして命懸けで逃げてる時に、金具が外れてしまつてですね、今まで歩けなかつた足が歩いていくと。そこからがスタートになつていくわけです。そういう風に養護学校を出て知能指数も低いんですが、障碍児の中で近くに小さい女の子がおりまして、本当に親父からいつもいじめられる。家の中が本当に貧困で、然も暗い家で、モノも言わんような女の子に出会つて、その子と知り合いになつて、お互いに労わつていくようなフォレストガンブの非常にきれいな気持ちが出ておりました。だんだん成長するに従つてですね、ベトナム戦争に行つて、凄まじい戦いの中でフォレストガンブが戦友を助けたりしていくわけです。

戦友は戦死をしたり、或いは両足が無くなったりしてですね、本当に不具者ばかりになった。そういう戦友との出会いですね。ベトナム戦争から還ってきて、アメリカでの反戦の運動、いろいろなことがあります。最後は事業で大変成功するんですけども、成功した金は全部福祉協会に寄付していくというようなことで。これは全くあらずじで、内容は相当あるんですけど。本当に素晴らしい生き方をですね、見せてくれたですね。

一番始めに出会った、モノも言わない、親父が乱暴でいつも娘を虐めておった、そのモノも言わないひねくれた女の子と最初に出会った。その子もだんだんだんだん成長していくわけですが、最後には愛情が芽生えて、またこのストーリーの内容が実に素晴らしいんです。この愛情というか、お互いの恋愛の姿というんですかね、本当に人間の愛のあり方っていうか、本当に真剣に考えさせられたんですね。そういう事で腐れた今の日本の文化と申しますか、男女の関係における非常に乱れた腐れてしまつたような今の文化ですが、何か非常に大きな衝撃を与えた。私は全国民に観てほしいなあと、こういうような気持ちになりました。そういう素晴らしい内容であるこのストーリーを書いた、あのアメリカの腐れ切った文化と言われておる、その中にまた、こんな素晴らしいものが生まれるという事がですね、また一面不思議に思うんですね。これはいつまで上映されるか分かりませんが、これは皆さん、本当に是非観てほしい。観る価値があると思います。本当に観る価値があると思う。映画はいろいろ説明するよりも、いろいろな場面も体験をするように説明をしてくれませう。本当に肌で受け取っていく、そういうような教えがありますので、私はいい勉強になるんじゃないかと。そういう映画を久々に観て、そう思いました。高校に入ったばかり、今中学三年生で卒業したばかりですが、その孫にですね、どうだったかと聞いたんです。良かったって言うんですね。中学三年生でも、やっぱり判ると思いますね、それ位の年齢で。ひとつ自分が洗われるんじゃないかと、それからまた自分の生き方について言うんですかね、「ははー、やっぱりこういう生き方をしなきゃならんかなあ」と、こういうひとつの示唆がですね、この映画の中に私はあると思います。あまりにも今、現実はおドロドロしてますからね、ちよつときれないな、きれいすぎるんじゃないかという

面がありますけども、これはやっぱり、我々のこれからの生き方の中で参考にすべき、そういう受け止め方をして、この映画を観たら、私はいんじゃないかと。是非観て頂きたい。本当、直ぐ近くの宝塚会館の五階ですね、やっておりますから。何とか時間を作つてですね、ひとつ鑑賞してみてください。本当に私は、最近まれにみる素晴らしい映画じゃないかと、こう思つてます。

それで、私はその映画を観たのは昨日で、今日は本当はその話をテーマにするつもりはなかつたんですけども、普通なら映画を観たら、それはその時に鑑賞は終わるわけですね。ところがいつまでも何か残つてですね、夢にでも出てくるような、そういう感じがしたわけです。それで今でも頭に残っているものですから、皆さんに申し上げて、反戦の意味もあるし、平和に対する問題もあるし、或いは恋愛の問題もあるし、或いは夫婦の関係もその中にあるし、或いは我々の商売上の内容もその中に含まれている。色んなものがですね、含まれているわけです。是非ひとつ時間を何とか割いて、上映期間中にですね、観てほしい。上映時間はですね、八時に入つて、終わったのが十時二十分くらいですから、二時間二十分くらいだと思いますね。丁度、予告も何もありませんでしたから、正味、私それだけが観たかった。その時間で、是非ひとつお勧めをします。

その映画を観ながらですね、今私に関心があるのがひとつあるんです。それも頭に入れながら、その映画と対比して観た時に、例えば先ほど申しましたフォレストガンプがですね、小さい時に養護学校に行つとるわけですから、金具をはめて全部こゝろを支えて、こういう形で歩くわけですね、その恰好を見て、悪坊主が虐めるわけですね。石を投げたりして右が頭に当たつたりする。だからそういうのに出会うとですね、その女の子とたまたま居つた時に、走れ、走れということ、逃げていくわけですね。そういう事がね、だんだん大きくなつても、やっぱり大人からも虐められる。ところが命懸けで逃げて行つた時にですね、これが外れるわけですね。金具が外れてですね、そして正常な足に戻るわけですね。これは、私、あり得ると思つたんですね。人間という生命力がですね、極限の状態に達した時にですね、私はもう如何なる病氣も治らんじやないかと。それを、先ず第一番に感じたのですね。命懸けで逃げる。もう大

人も虐めるんですよ。もうそれはね、もう本当に命懸けで逃げる。その逃げている内に、金具が壊れてバラバラに外れた時に、自分はそのままの状態ですべて歩いていく。

彼はマローンの選手になる、アメリカの。マローンで横断を二回ぐらいたるんですよ。それまで考えられないような成長をするんですよ。これはね、何故そうなるのかという事なんですね。我々も命の極限に達したらですね、我々の体の中には、それを克服する生命力があるという、ひとつの証明ではなかったかなと、こう思うんですよ。全てを忘れてですよ、全力で逃げる。もう走るだけの事を考えている。

だから私は健康という問題でもですね、今そういう本にちよつとかじりついておるんですけども、極限の状態という事は一切の我を捨てた時ですね。一切の我を捨てた時。全くクリーンな状態になって、全部自分の生命力に全てを託した時、こうなった時に、人間の本能というものは自らの病気を全て無くしてくれる。いわゆる、この体と精神というものがですね、一体であるという事と、生命力はそれだけ自分を守ってくれるという事。それを虐めておるのはね、その生命力を虐めておるのは、我々の意識じゃないかと思うんですよ。例えば、欲。いろんな人間としての欲があります。いろんな欲があります。こういう欲は意識ですよ。そういう意識は、今の生命力をがんじがらめに押さえつけている。だからそういう意識をね、全部取り払ってやる。難しいけれども、そういう状態に極限的に自分が持つていく事が出来たら、如何なるものも治るといふ、ひとつの証明ではないかなという風に、私は思ったんです。これは、前にもちよつと話をした事があるかも知れませんが、僅か身近な嘉穂郡の嘉穂町にです。大隈ついでという所があるんですよ。そこにサイトウタカシついでという人がいます。その方から私は命の極限というのを実際にこの目で教わったことがある。その人は実験して見せるんですよ、命の極限を。その方が言っているのが、やっぱり同じような事を言っているんですよ。自分の本当の生命力に全てを託したら、全て治るといふ事を言っておりまして。

それを阻害しているのは意識だ。だから一日一回はね、十分間でもええ。禅。いわゆる宗教の世界で言う無の世界ですね。だから宗教の世界では無の世界を大事にするんですよ。何か私、判るような気がするんですよ。難しいけれどね。だからいろ

んな事を忘れようと思つても、人間の頭の中には、細胞には波動がありますからね。忘れようとしても、忘れようと思えば思うだけ、いろんなことが頭に浮かんでくるわけです。そういう事をね、それを意識しないような状態、何が浮かんできても意識しない、何でも浮かべてなという調子で、自分が成り切る事が出来れば、私は病気が治るといふ風に考える。フォレストガンブがですね、あの姿を見ながら、私はそういう事を非常に強く感じたんですよ。

それとね、もう時間があまりありませんが、今話題になっているひとつにですね、波動の真理というのがある。何冊か本を読んでみましたけれども、あんまり大した本に出合わないんですけど、波動というのは、波の動くときと書く。波動。波動。これがですね、いわゆる二十一世紀の科学になるんじゃないかという風に言われておるんですよ。今これの研究がですね、非常に進んできておる。どういふ事かといいますとね、我々の考えている思考の組み立ては、どういふ風になっているかと言つとね、我々は自然科学だけしか勉強してきてないですね。今皆さんが信じているという事になったら、目で見えるもの、それから触ることですね、或いは自分がどうする、こうするといふ事によつて、それが証明される時に、我々信じているという事になるわけです。目に見えないものをですね、信じているという事は非常に難しい問題ですね。ところがですね、目に見えないものを信じざるを得ないような問題がたくさんあるわけですね。先ほど言つた我々の考え方ついでいふのは全部、自然科学的なもの見方ですと育つてきているから、ものを見るのはそういう形で見るところが、それでもものを見ていくと、百分の一しかものは見えないですね。百分の一しか見えない。科学というのは、百分の一の分野しか証明できてないんですよ。もつと狭い範囲のものかもしれないですね。知られてない範囲が九十九パーセント。判つてない範囲が一パーセントしかない。じゃあ、この判つてない範囲といふのは何かといふ事ですね。例えば一つ皆さん例を挙げて、説明をします。水。飲んでる水ですね。何でもない水を飲んでますが、水で科学的に証明できているのは、どの範囲でしょうか。今ね、水のことについて、分かつてない事が沢山あるんですよ。例えば、水が固まりますよね。いわゆる氷になりますね。モノは凝縮するとね、重くなるんですよ。モノは凝縮するとですね、重くなるんですよ。

ところが、水はどうですか。氷になると浮くじやないですかね。何故凝縮したら軽くなるんですか。軽くなるという事は分かっているんですよ。これは証明されてるんです。何故軽くなるかという事は証明されてないんですよ。これは証明されてない。何故明かされているんです。しかし、それを境にして、何故そうなるのかという神秘については、何も解明されてないんですよ。そして、しかも水が熱を持つと蒸発をする。何故蒸発をするか。何故これが蒸発するか。そして大気が冷えている所は白くなります。何故そうなるのか。何故そうなるのか。しかもこれがまた地上に降りてくる。雨になって、雪になって、降りてくる。同じ水がですね、雪になった時に、なんであんな結晶になるか。数えられないような結晶になって。

結晶は分かっている。何故そうなるかという事について、何にも解明されてないんですよ。何故そうなるのか。我々の体も九十九パーセントは水と言われてますからね。何故その水がね、こんな風に体が変わっていくのか。何にもそういう事は解明されてないんですよ。分かっている範囲ばかりなんです。我々は科学がこんなに進んでもですね、何ひとつ生命を作りきらないんだ、人間はね。生命を作りきらない。これは実に不思議な世界。あんなに科学が進んでんだから、何か物質と物質を集めたら、ここに命が出来なきゃならんはずだけれど、出来ないんだ。不思議なものですよね。あれだけ進んでおつても、動物ひとつの生命を作りきらない。出来ない。こういう神秘さがですね、あるんですよ。そういうものをですね、どういう形で捉えていくかというのが、波動の世界という事になってきておるようですね。波動で捉える。例えば、私が村田君をいい男だなあと、これは成長するぞと、こう思っていたら成長するんですよ。これ、何で証明できますか。私が思う事によつてですね、相手が成長する。お互い友達でもね、こいつは嫌だなあと思うと、だんだん離れていきます。向こうも嫌なんだね。これ波動の世界。分からないんですよ。しかし、何か分からないものが通じ合ってますね。今、ソ連なんかでもそうなんです。氣の世界と云つてですね、ロケットをね、人間の意識で方向を変えるついでなんです。ある程度進んでい

るんだそうですね。ロケットを打ち出したらね、人間の意識でもって方向を転換させる。これはもう随分前から研究がなされていて、かなりの所まで行っているという風に聞いております。だからこういう我々が常識では考えられない、そういう波動の社会がある。だから、こういう事をだんだんだんやっていきますとね、我々の日常生活で、「あつ、これは誰も見てないな」、「あつ、この程度の事はいいんじゃないか、よしやろうつてやる」、「これは大したことはない、止めとこうつて手を抜く」とかですね。こういうものがね、いずれは何らかの形で、どこかで出てくるんですよ。

これがいわゆる波動のいろんな研究で、そういう事が言われ始めているんですね。いわゆる見えぬ波動の、我々が今まで見えぬ所のものが、非常に重視され始めているんですね。これが二十一世紀の科学という風に言われている。まあ、生嚙りながらもそういうことをやっております。いろいろな事に出くわすんですね。これは前々回に私は運命についてお話をしましたが、三分の一の運命、三分の一の運命、三分の一の運命に分かれています。ところが、この三分の一の先祖代々から流れているこの運命と、それから何かに守られている運命と、これ目で分らないんです。しかし目に見えないけれども、その運命の中に我々はたっぷり入っているわけですね。だから、こういうような事柄が非常にこれから大事にしなきゃあならんものじゃないかと。だから心と、相手を思う心とか、仕事に取り組む心とか、非常に大事ですね。これは証明のしようがない。見えぬんですよ。証明のしようがない。

けれども、そういう所が非常に大事だなと。これこそお客様の為に何かというものは、必ずまた波動として相手に伝わるということですね。商売の繁栄の理論というのが、波動の社会にだんだん変わってきているんですよ。原価幾らのものを幾らで売ったというものは、これは数字で計算できる。しかし、今度は数字で測られない利益があるんだと、その後にあるという事が言われている。今日はそういう事ですね、映画を観た事から、それを観ながらいろんな今自分が関心があるものを合わせて観ていったんですけども、参考になればと。じゃあ、終わります。どうも。

体験報告

私は、日本キリスト召団福岡恵泉塾に所属する、恵泉塾の職業訓練生ですが、同じキリスト召団に所属する興膳さんと山本さんが、こちらの清爽クラブに積極的に参加されていて、福岡恵泉塾の塾頭であられる瓜生先生の勧めで、参加させていただいています。

私も福岡清爽クラブに参加させていただいて、一年八ヶ月ほど経ちました。この体験の中で学んだこと、気づかされたことや感想などを幾つか報告したいと思います。

この掃除の会で、感心させられたのは、掃除をすることを単にボランティア活動をするということではなく、掃除の現場を教育の現場とされていることです。いわば掃除の現場を一種の道場として位置付けて、掃除がもたらす教育効果に着目して教育哲学の追及を試みているのです。

そして日本を代表する教育者であられる森信三先生の「全一学」を柱とした実践的な教育哲学を、清爽クラブの教育哲学の柱にしている事には大変感銘しております。そして、森信三先生の教育哲学は現代社会の学校教育や家庭教育において欠落してしまっている必要に迫られているものであることに気づかされました。

また、この清爽クラブの活動が日本の現代の子どもの家庭教育や学校教育に喪失してしまっている、実生活における家事や雑用などの手伝いの訓練不足によって、生活力や仕事力、忍耐力や人格形成が子供のうちに育まれない日本の現代社会の問題の解決に大いに貢献するのではないかと思います。

この会に参加されている方は、日本や自分の住んでいる地域の生活環境に関心を持つておられる人が多く、実直で真面目で問題意識を持った爽やかな人が多いと思いました。また早朝清掃の場がそのような人たちとの出会いの場ともなっていることに感心しています。そして、一日の中でも一番新鮮で爽やかな早朝の時に、そのような人たちと共に掃除をする喜びを体験できたことに感謝しています。

これから私も、この福岡市で就労と自活をする予定ですが、この清爽クラブで学んだことが、これからの人生の目標のヒントになれば幸いです。

二〇二〇年六月二十三日

福岡恵泉塾

森 丈英



生命の林と人生 四五、創造する伝統

020-6

光然京カルテラ

私は一九七〇年の万国博において、テーマ展示の責任者となり、中心にテーマ館、「太陽の塔」を作った。この博覧会は、欧米以外の土地ではじめて開かれる万国博であり、日本でやる以上、日本調でやるべきだという意見が、はじめは圧倒的であった。しかし、私は臆と

ばして、まったく独自の、個性的な、私でなかったら誰も作らないような「太陽の塔」を現出させたのである。およそ、いわゆる日本式ではないし、また西欧モダニズムもない。

私はいわゆる日本調、日本式という型ぐらい日本でないものはない、と考える。本当の日本美は、惰性的なパターンを「ノー」と拒否して、独特のなかで徹底的に己をうち出す。独特といつても、一人ぼっちというわけではない。この世界で現時点において、本当に己を貫き、生きようとすれば、誰でも必ず孤独になる。そういう人間たちがぶつかり合って新しく創り出したものが、結果として「日本の美」になるのであって、はじめからパターンがきまっている日本調に合わせて、その枠組みに乗っかってやっても何も生まれえない。パターンとなった日本調に、日本人こそが闘わなければならないのだ。そういった意味で、私は「太陽の塔」を日本調伝統美ではなく、また現代文化の行きつまりを絶望

的に象徴していわゆる西欧モダニズムともまったく違った姿で、誇らかにそびえ立たせたのである。

決して安心した形で好かれるはずはない。というつもりだった。しかし、私が、「ノー」と言つて一足とびした以上、みんなにも一足とびしてもらわなければならない。良い悪いの判断は、見た人すべての自由だ。よからうが悪からうが、私はこうやる、と独自のものをつき出した。ところが、万国博の会期中、ここを訪れた一般のピープルが、この搭をよるこんでしまった。インテリにはわからない。日本のインテリは頭がコンピューターになっているのだ。見る、と勝手に自分が感じるのではなく、これはニューヨークにない、ロンドン、パリ、どこにもない、「なんだ、これは・・・」、反対にニューヨークにあつた。パリにあつた。「ああ、いいじゃないか」と自動的に判断する。日本ばかりではないだろうけれども、これがインテリのシステムである。

大衆は無条件である。太陽の塔が万博のシンボルになつた—というのも子供とが、爺さん婆さん、つまり一般大衆にひじょうに好かれたからだ。いいとも悪いともいえないような人たちに逆に好かれた。

そして、そのイメージはエキスポのシンボルとして世界中に広まり、新しい日本を象徴したのである。



日本の美と心

未来への遺産より

創造する伝統 岡本太郎

昭和四十八年二月十日発行

PHP研究所

二〇二〇年六月二九日

広葉の林を育てる会

興膳 丈治



7 月の活動予定表								8 月の活動予定表				
日	4	5	8	12 ~ 17	18	25	30	1 ~ 2	8	15	22	29
曜	土	日	水		土	土	木		土	日	土	土
行事活動名	福岡空港ミリオン清掃 第26回	令和を巡る早朝清掃	博多駅早朝清掃 第320回	鹿児島楽農	新飯塚駅早朝清掃	令和を巡る早朝清掃	農産物検査員講習 / 楽農人支援	楽農人支援	博多駅早朝清掃 第321回	福岡空港ミリオン清掃 第27回	新飯塚駅早朝清掃	令和を巡る早朝清掃
場所	福岡空港 周辺一万m	福岡県太宰府市 戒壇院	博多駅筑紫口	鹿児島県大楠農産	福岡県飯塚市新飯塚駅	福岡県太宰府市 戒壇院	千葉県 埼玉県 茨城県	埼玉県	博多駅筑紫口	福岡空港 周辺一万m	福岡県飯塚市新飯塚駅	福岡県太宰府市 戒壇院
開始時刻	6時30分	6時30分	6時00分	終日	6時30分	6時30分	終日	終日	6時00分	6時30分	6時30分	6時30分
運営団体	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ	NPO法人楽農人	いづか清爽クラブ	福岡清爽クラブ	NPO法人楽農人	NPO法人楽農人	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ	いづか清爽クラブ	福岡清爽クラブ

再生七月号

令和元年七月八日発行 (毎月一回八日発行)

創刊 平成二十八年九月一日

発行人 富 袈裟右衛門

発行人(編集人) 富吉 袈裟右衛門

- ◇NPO法人福岡実践人 福岡清爽クラブ
- ◇一般社団法人 実践人の家 福岡仁風読書会
- ◇NPO法人 楽農人 楽農人笑仲くらぶ

〈合同事務局〉 〒811-2247

福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号 <<仁風庵>>
 TEL 092-931-8155(掃除) 931-8150(読書) FAX 092-931-8120
 E-mail fukusoukai@sou.ji.link (掃除)
 shochu.club@rakunoujin.com(農業)



「再生」に掲載している写真は、富吉が撮影・管理しています。必要な方は事務局までご連絡ください。